



第 40 号

所 場 会
行 行 行
区 区 区
水 水 水
沢 沢 沢
高 高 高
校 校 校
同 同 同
窓 窓 窓
会 会 会
報 報 報
0197-24-3151

同窓会長退任の御挨拶

前同窓会長 及川 源悦郎



平成二十三年八月の総会で会長を退任し、長野耕定新会長(昭和四十二年卒業)に就任して頂きました。

私は確か昭和四十八年の総会で前会長の菅原ヒサ先生から引き継いだと記憶して居ります。その以前、副会長として菊池万吉先生の弔詞を奉呈したのを覚えて居ますので役員としてはもう少し前から関係して居た気が致します。その間、会長としての私を支えて頂いた副会長の皆様方、御指導を戴いた歴代の校長先生方、同窓会事務担当を務めて戴いた先生方、そして会員諸兄弟には本当に御世話に成り心から感謝申し上げます。

有難う御座居ました。考えて見ますと実に長年に渡り同窓会長をさせて頂きました。水沢高校の発展振りを具さに見させて頂いた感じ。昭和二十年の終戦迄、水沢町には高等女学校、水沢農学校、商業高校は有りましたが中学校は有りませんでした。

当時は上級学校への進学を希望する男子生徒は盛岡中学校や一関中学校、黒沢尻中学校に列車通学するのが普通でした。終戦後の昭和二十一年四月から県立水沢中学校が開校し、二年生として一関中学校、黒沢尻中学校その他の学校や外地から引き上げて来た者等、八十数名が転入しました。一学年として入学試験を受

け合格した新入生百名は応募者が三百名も有りその中から入学出来た生徒だったと聞いて居ます。胆江地区では県立中学校で勉学を望んで居た人々が如何にも多く、教育熱心な地方である事を証明するものと思えます。県立水沢中学校には校章、校歌も有りましたが学生改革により生徒数は百八十名三年間の命でした。

県立水沢中学校は戦後の新設中学校の為、戦争中の教育方針に捕われず新しい平和民主主義の考え方に抵抗無く移行出来たと思えます。無監督試験が行われたのも水沢中学校の真摯な挑戦思想の表れだったのかも知れません。

昭和二十三年度から水沢高等女学校と水沢商業高校、それに水沢中学校が合併し、水沢高等学校と校名が変わりました。生徒達は父兄の期待に応え上級学校へ進学する者が多く出ました。東京周辺の学校へ進学した者は汽車で片道十二時間、宿舎は寮か下宿、それに学費負担も大変であり困る家庭も有ったのかも知れませんが、そんな事情で進学を諦める児童が出てはいけなさと云う考えから町内の篤志家の山形佳明司氏、鈴木直二郎弁護士、池田徹郎緯度観測所長、鈴木勇水沢病院院長それに下飯坂町長等の方々が中心と成り水沢高校育英会が設立され今日に至って



よろしくお願い致します

同窓会長 長野 耕 定

余震による被害も重なりましたが、皆様の間係者にも被災された方々が多くいらっしゃると思います。私の同級生の中にはご家族三人が津波で亡くなられた方もおり、その報を聞いたときは言葉も出ませんでした。心からお悔やみとお見舞を申し上げる次第です。

四年くらい前から百周年に向けて、関東・仙台・盛岡の支部の総会に伺わせて頂きました。それぞれいろんな企画を考えており、結果多くの同窓の皆さんが参加しており、懇親会はかなり盛り上がるものになりました。

た。一方本部の総会は地元ということもあるのか、今ひとつ参加いただけの方が少なくて感じられました。今年の本部総会に多くの同窓の皆様に参加いただけたよう、企画や告知を工夫し努力していきたいと思えます。同窓会は参加いただけの数が多いほど思い出話も膨らむものです。例年八月に予定されておりますので、特に地元の方々の協力をお願い致します。学校も同窓先輩諸氏の皆様の培った伝統校風はしっかり受け継がれており、文武両道精神で時代の変化に適應できる人材にな

るべく生徒の皆さんも意欲的に勉学や運動部、クラブ活動に取り組んでおり、大変頼もしいこととあります。同窓会も八十周年の「志学館」百周年の「昇龍館」と文武両道にあわせ設備で応援してきました。さらなる躍進に向けて次の支援も考えて参りたいと決意を新たにしているところです。新しい役員の方々のお力をかりながら、同窓会並びに母校発展のために取り組んで参りますので、今後共よろしくお願い致します。

居ります。

この様に勉学を希望する子供達を支援しようとする雰囲気は水沢には昔から有ったのかも知れません。私が会長に就任したのは創立六十周年記念事業で同窓会館が完成した後であります。その頃は木造兵舎と言われた教室が可成老朽化し生徒達の活動に支障をきたす様な状況となつて居ました。職員生徒を中心に建替を要望する声が高まり、及川利二先生、後藤五郎先生の両県議を先頭にP.T.A、同窓会で千田知事に陳情しました。知事は塩山教育長を知事室に呼び「俺の言う事を一番聞かない人はこの人だ等言い予算を付ける様ユーモラスに陳情団の前で教育長に要望してくれたのを覚えて居ます。

学校側でもどの様な校舎が理想的か試算する必要に迫られました。菊地信彦先生(昭和二十九年卒業等)が同級生で一級建築士の小野田富男氏に相談し、仙台等の先進校舎を見学したそうです。その結果、小野田氏が素案を画き、それが素で県下にも類を見ない四角形の鉄筋三階建の校舎が出来たと聞いて居ます。木造校舎を白亜の校舎に建て替えるのに三年間を要して居ります。昭和五十二年に校舎は完成しますが、落成を前に新校舎に相応しい環境を整備する事が求められました。その為に委員会を設置しました。委員会の主な仕事は環境整備の為の資金集めでした。実行部隊は同窓会を中心にP.T.A、阿部克衛校長始め先生方一丸となつて行動しました。各行政機関、先輩の事業所、卒業生の父兄、水高に理解の深い諸氏その他一般の方々も含めて御協力をお願いに廻りました。勿論、無計画に行動した訳では無く、同窓会監事の河口洋氏、昭和二十九年卒業が指令塔を務め、無理無

く楽しくをモットーに募金活動が出来たと思つて居ります。その結果、校舎中庭のスペイン風庭園や白龍館、奏龍館、テニスコート等、校舎に付属する諸設備を完成する事が出来ました。

創立八十周年を迎えた平成二年には記念事業として志学館の建設を行いました。この際も資金は先輩事業所や先輩にお願いして賄う事が出来ました。大学進学を希望する生徒の多い本校では先輩の大学教授の先生方を特別講師にお願いし、課外授業を行つて居ります。しかし、受講希望者全員を収容出来る広さの教室が無く、市内の農協会館等を借用して居りました。志学館は一学年全員が入れる広さで冷房はもとより床暖房も完備した室であります。しかも、室自体が二階になって居る為、道路を走る車両等の騒音からも遮断され、以前に比べ借教室迄往復の時間的無駄も省け、素晴らしい勉強環境が出来たと喜んで貰う事が出来ました。平成二十二年に実施された創立百周年記念事業としては昇龍館の建設が行われました。文武両道を目指して居る本校としては勉学は勿論クラブ活動としての体育スポーツの向上も望まれる所であります。その為、雨天でも練習出来る場所が要望されて居りました。それに添うべく床が地面の体育館、昇龍館が創立百周年記念事業として完成しました。この資金も奥州市、金ヶ崎町、そして地元企業からの有難い御支援と先輩諸兄弟からの暖かい浄財の集計でした。早速、活用した運動部員に聞いて見ると、施設は素晴らしく、とても有難いと言つて居るので良かったと思います。

私は、諸記念事業に関係し、皆さんに御寄附をお願いした人間として御無理なお願いをし、申し訳無い事をしたと思いま

す。そして、御協力を頂いた事に衷心より感謝と御礼を申し上げます。更に、私は地域市民の皆様の水沢高校に対する暖かい愛情と大いなる期待を感じる次第であります。多くの方々が高水に学ぶ子供達に世の中の為にも大いに活躍出来る人間に成る事を期待していらつしやると感じま

飛龍二世紀を迎えて

昨年三月十一日に発生した東日本大震災とその後に続いた余震によって大変な被害に遭われた方々に対し、衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。その後、平常に復する間もなく、台風十二号の直撃や今冬の豪雪等もあつて、日本各地にお住まいの同窓生の皆様には自然の脅威に苛まれ、御苦労が続いていることと存じます。そのような中にあつても、再起に向かつて立ち上がられた皆様に心から敬意を表します。

さて、皆様の御理解と御支援によって、一昨年十月に本校創立一〇〇周年記念式典を挙行することができました。在校生は皆様の、母校を愛する姿に深く感動し、本校飛龍二世紀に向かう意気を改めて高くしたところでした。

その五ヶ月後に本校も大きな地震に襲われましたが、校舎に若干の損傷を受けただけで、生徒や職員に被害はありませんでした。余震への心配とライフラインの復旧の遅れから、三月中はそのほとんどの生徒の自宅待機としました。四月になり、在校生は例年通りに学校生活を再開しましたが、一週間遅れの入学式、運動会の取り止めなどもあつて、全体とし

生徒諸君は地域の皆さんや先輩から授かった諸施設を十分に活用し、成果を出して欲しいです。最後に成りましたが、永年不束な小生を同窓会長として支えて頂き有難う御座居りました。水沢高校の益々の御発展をお祈り致します。

平成二十三年十月吉日

校長 佐藤 成人

ての学校の教育活動は、遅れを取り戻すのに七月までかかりました。それでも生徒諸君は、この一年、学習面でも、部活動面でも、本当に一生懸命頑張つてきました。その成果はこの会報にも掲載されております。

加えて、大震災直後から生徒会を中心に支援活動に取り組んできました。本校を含めた奥州地区の高校は気仙地区の高校との支援・交流活動に取り組んでおります。なお、同窓会の御理解を得て、被災地の高校生への部活動や大会遠征の際には、水龍館を無料で提供することができましたことをこの場をお借りして御報告するとともに、御礼申し上げます。

様々な交流活動を通して、大船渡高校を始めとする被災地の高校生諸君と手を携えて故郷いわての復興に取り組んでいこう、という決意が本校生徒諸君の心の中に固く根付きました。学校としてもそれを実現するための教育活動を一層充実させていきます。これが飛龍二世紀を迎えた本校の使命であり、発展の礎になると考えます。

皆様にも、御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

関東支部総会

第16回関東地区同窓会は、東日本大震災から8ヶ月後の11月12日、千代田区二番町の東京グリーンパレスで開催されました。参加者は95名を数え、水沢からは長野耕定同窓会長、佐藤成人校長、菊池竜太事務局長が出席されました。総会冒頭、参加者全員で震災の犠牲者へ黙祷を捧げました。只野康夫関東地区同窓会長より「未だ震災の痛みが癒えぬ時、同窓会の開催を躊躇したが、このような時だからこそ同窓の仲間が集まり、故郷に思いを寄せるべきと考えた」との震災への思いを込めた挨拶がありました。

特別講演に移り、「食の安全を守り日本の第一次産業を育てる」と題して、(株)大地を守る会代表取締役社長の藤田和芳氏(17回生、昭和40年卒)が講演「大地を守る会」の設立から現在に至る経緯、有機農業の生産と流通のシステム化、震災と原発事故の被災者支援活動など、興味深いお話を伺いました。

懇親会では、3月末まで奥州市東京事務所長だった千田良和氏(30回生、昭和53年卒)から被災状況の報告があり、認識を新たにしました。また、4月に水高から首都圏の大学に入学した大学生3名が招待され諸先輩と積極的に交流してました。参加者が卒業年次ごとに近況報告するなど和やかに時を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して会を終えました。

この同窓会の模様は、ホームページ http://www.imizuko.com に掲載しておりますので、御覧下さい。(関東地区同窓会 工藤康博(第20回生、昭和43年卒))



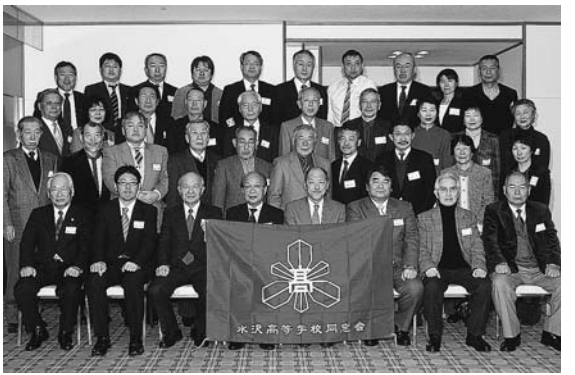
仙台支部総会

厳寒の二月二日(木)仙台ガーデンパレスにおいて在仙同窓会は五十名近くの参加者を得て開催されました。

総会に先立ち震災の犠牲者に黙とうを捧げてから、支部長の交代について経緯説明があり、菅野國夫氏(四回卒)から斉藤健氏(十一回卒)が承認されました。

本部の長野耕定会長、佐藤成人校長からは、一〇〇周年事業の結果や最近の母校の活躍ぶりの紹介があり、懇親会では、いつになく女子会員も多く旧交を温め、恒例の年次ごとの近況報告など和やかな雰囲気でした。最後に長野会長から「支部総会は隔年ではなく毎年開催したら」とのご提案をいただきました。

末筆になりましたが、菅野國夫前会長には弁護士活動の傍ら貴重な時間をご尽力いただきました誠に有難うございま



盛岡支部総会

盛岡支部総会は七月十五日に「サンセール盛岡」で開催されました。当日は、同窓生の相原康二氏の平泉の世界遺産登録について、タイムリーな講話を聞いたうえで、その後、総会・懇親会と進められました。

盛岡支部は毎年総会を開催し、賑やかに、和やかに懇親を深めています。

ちょうどその日は、県高校野球の予選があり、受付しているときは勝っていたのに、懇親会が始まる前に逆転負けしてしまいました。当然、今ひとつ盛り上がり欠ける総会になってしまいました。毎年、野球部に対する寄付が自然と始まるのに、その日はありませんでした。

それからいつも参加いただいている平野達夫君(現復興相)は公務のため欠席されたことも残念な事でした。とは言え、いつも通り最後は盛り上がりつつ散会したことは言うまでもありません。

それにしてもいつも御参加いただいている同窓会長及川源悦郎氏、高校から菅原善致氏、菊池竜太氏、鹿野聡氏、四名が本部から参加いただきました。本当にありがとうございます。



同窓会総会

今年度も、八月六日土曜日十四時から水沢グランドホテルで同窓会総会が開催されました。今回は百周年終了後最初の総会、また東日本大震災後最初の総会となりました。

今年度の総会では役員改選が行われました。長きにわたり同窓会長としてご尽力いただいた及川源悦郎会長がご勇退され、新同窓会長として長野耕定氏が選出されました。副会長にも、羽岡洋輔氏、木村恵也氏、鎌田卓也氏、藤波洋香氏が選出されました。また、セミナーハウス水龍館の宿泊ふとん代について、今年度より年間契約ではなく実費契約にしたこと、被災地域の学校の利用については水高生徒の利用と同様に同窓会費からの支出とすることが承認されました。

懇親会は、震災のため延期になっていた百周年記念事業協賛会の慰労会を兼ねて行われました。そのため、例年行っている恩師紹介、講演会は行われませんでした。が、百周年事業に関わる話にも花が咲き、大いに盛り上がりました。旧役員の方々には感謝の意をこめて花束等の贈呈が行われました。来年度以降もより多くの同窓生の方々のご出席をお待ちしております。



平成23年度部活動の記録 《運動部》

硬式野球部

○春季高校野球 準優勝
○夏季高校野球 2回戦進出
○秋季高校野球 1回戦敗退

剣道部

○高校総体
【男子】 個人戦 ベスト16
【女子】 個人戦 3年 遠藤 3回戦進出
3年 高橋 3回戦進出

ラグビー部

○高校総体
Aブロック 第5位
○全国大会予選 ベスト8
○新人大大会 ベスト8
Aブロック ベスト6

男子サッカー部

○高校総体 1回戦敗退
○第90回全国高校サッカー選手権大会岩手県大会予選ラウンド 1回戦敗退
○岩手県高等学校新人大大会サッカー競技 1回戦敗退

女子サッカー部

○全日本高等学校女子サッカー選手権大会 1回戦敗退
○東北地域大会 優勝
○岩手県高等学校新人大大会サッカー競技 (2年連続18回目の優勝) 第3位

バレーボール部

○高校総体県大会 2回戦進出
【男子】 ベスト16
【女子】 春の高校バレー ベスト8
○新人大大会 1回戦敗退
【男子】 ベスト8
【女子】 ベスト16

バスケットボール部

○高校総体 4回戦進出
【男子】 第3位
【女子】 第3位
※優秀選手：及川綾乃
※県総合選手権出場権獲得

ハンドボール部

○第66回国民体育大会バスケットボール競技 ※岩手県選抜チーム(及川綾乃(正選手)、藤原沙幸・遠藤恵子(補欠選手))
○第66回岩手県男女総合バスケットボール選手権大会 ベスト8
○第32回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会 1回戦敗退

バドミントン部

○高校総体 1回戦敗退
【男子】 第4位
【女子】 第4位

柔道部

○高校総体
【男子】 個人戦 ベスト16
【女子】 個人戦 100kg級 及川将真 1回戦敗退

山岳部

○高校総体 2回戦進出
【男子】 佐々木・高橋組 2回戦進出
【女子】 鈴木・吉田組 2回戦進出

水泳部

○高校総体 1年 伊東一成 第7位
男子100m背泳ぎ 2年 朴澤健太

ソフトテニス部

○高校総体
【男子】 団体戦 2回戦進出
【女子】 個人戦 2回戦進出

ウエイトリフティング同好会

女子2000m背泳ぎ 3年 菊地春芳 第5位
女子4000mリレー 菅原風我・松平勝樹・佐藤謙太・阿部光里 第8位

文化部

○第63回全日本合唱コンクール岩手県大会 金賞
○第63回全日本合唱コンクール東北支部大会 銀賞

卓球部

○東北大会 予選敗退
【男子A・Bチーム】 予選敗退
【女子A・Bチーム】 予選敗退

弓道部

○高校総体
【男子】 団体戦 ベスト16
【女子】 団体戦 予選敗退

陸上部

○全日本選手権(ジュニアの部) 第3位
及川円佳
大槻丈瑛 1回戦敗退

女子サッカー部

○全日本高等学校女子サッカー選手権大会 1回戦敗退
○東北地域大会 優勝
○岩手県高等学校新人大大会サッカー競技 (2年連続18回目の優勝) 第3位

男子サッカー部

○全日本高等学校女子サッカー選手権大会 1回戦敗退
○東北地域大会 優勝
○岩手県高等学校新人大大会サッカー競技 (2年連続18回目の優勝) 第3位

バレーボール部

○高校総体県大会 2回戦進出
【男子】 ベスト16
【女子】 春の高校バレー ベスト8
○新人大大会 1回戦敗退
【男子】 ベスト8
【女子】 ベスト16

バスケットボール部

○高校総体 4回戦進出
【男子】 第3位
【女子】 第3位
※優秀選手：及川綾乃
※県総合選手権出場権獲得

ハンドボール部

○第66回国民体育大会バスケットボール競技 ※岩手県選抜チーム(及川綾乃(正選手)、藤原沙幸・遠藤恵子(補欠選手))
○第66回岩手県男女総合バスケットボール選手権大会 ベスト8
○第32回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会 1回戦敗退

バドミントン部

○高校総体 1回戦敗退
【男子】 第4位
【女子】 第4位

柔道部

○高校総体
【男子】 個人戦 ベスト16
【女子】 個人戦 予選敗退

山岳部

○高校総体 2回戦進出
【男子】 佐々木・高橋組 2回戦進出
【女子】 鈴木・吉田組 2回戦進出

水泳部

○高校総体 1年 伊東一成 第7位
男子100m背泳ぎ 2年 朴澤健太

ソフトテニス部

○高校総体
【男子】 団体戦 2回戦進出
【女子】 個人戦 2回戦進出

ウエイトリフティング同好会

女子2000m背泳ぎ 3年 菊地春芳 第5位
女子4000mリレー 菅原風我・松平勝樹・佐藤謙太・阿部光里 第8位

文化部

○第63回全日本合唱コンクール岩手県大会 金賞
○第63回全日本合唱コンクール東北支部大会 銀賞

同窓会・水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、同窓会へ146名の方から、総額95万5千円のご寄付を任意にもかかわらず頂戴致しました。同窓会一般会計に入金され、今後の同窓会会報の発行や部活振興等に使用させていただきます。

水高育英会へのご寄付は50名の方より総額66万1千円のご寄付を頂戴致しました。これまでも多くの進学する卒業生を支えてきております。

今後ともご協力をお願いします。

同窓会寄付者(平成24年2月10日現在・受付順・敬称略)

Table listing donors with columns for name, amount, and address. Includes names like 橋本和枝, 藤三浦, etc.

水高育英会寄付者(平成24年2月10日現在・受付順・敬称略)

Table listing donors to the Water High School Alumni Association with columns for name, amount, and address. Includes names like 池田美沙, 藤原悟郎, etc.

同窓生の著書(図書館寄贈分)

平成24年2月末現在

Table of books donated by alumni, including author names like 佐藤岳俊 and 松本啓, and book titles like 現代川柳の宇宙.

職員異動 section with decorative border. Lists staff changes for the 23rd year, including transfers (転入), dismissals (退職), and promotions (転出).

書道部

- List of calligraphy awards and events. Includes 第9回若手県高等学校書道作品コンクール, 第12回高校生国際美術展, etc.

演劇部

- List of drama awards and events. Includes 全日本アンサンブルコンテスト第32回若手県大会, 県南地区高等学校演劇合同発表会, etc.

写真部

- List of photography awards and events. Includes 第34回若手県高等学校総合文化祭 第30回高校写真展.

文芸部

- List of literary awards and events. Includes 県高総文祭「平成23年度若手県高等学校文芸コンクール」.

美術部

- List of art awards and events. Includes 第34回若手県高等学校総合文化祭美術工芸部門.

短詩同好会

- List of short poetry events. Includes 第14回俳句甲子園全国大会出場.

フォークロック同好会

- List of folk/rock events. Includes 第11回軽音楽発表会.

平成23年度激励金交付報告(1月30日現在)

Table showing incentive fund disbursement by department. Columns include department name (e.g., サッカー部, 野球部) and the number of participants.

今年度、東北大会・全国大会に出場した部に、同窓会会計より総額514,000円の激励金を支出しました。交付対象の部は上記の通りです。

平成24年度 岩手県立水沢高等学校同窓会総会

日時 平成24年 8 月11日(土)
場所 水沢グランドホテル
水沢区東町40
TEL 25-8311



平成23年以降 同窓会事務局電話番号の変更について(お知らせ)

これまで同窓会事務局は、水沢高等学校の電話番号を共用しておりましたが、平成23年以降は独立した電話も設置いたしております。特に、**住所や姓の変更など、同窓生としての籍の異動につきましては新たに設置した電話でのみご連絡を承ります。**籍の異動については、学校へお電話をなさっても受け付けられませんので、ご注意ください。なお、事務局への一般連絡やご質問などは、これまで通り学校の電話へご連絡をお願いいたします。

同窓会専用フリーダイヤル TEL・FAX(兼用) **0120-191-544** (籍の異動に関わる連絡)

学校の電話番号・FAX 兼用 **0197-24-3151**(事務局への一般連絡)
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/msw-h/>
メールアドレス yukinokisyo@msw-h.iwate-ed.jp

◇事務室からのお知らせ◇

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要ですが、一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。

詳しくは水沢高校ホームページをご覧いただくか、事務室までお問い合わせ下さい。

編集後記

昨年度、創立100周年記念の各種事業を終え、飛龍二世紀を迎えてさらなる前進をしております。その矢先、100年に一度と言われる大震災が東北地方を襲いました。被災された同窓生の方々には心よりお見舞い申し上げます。校舎や在校生につきましては、大きなダメージや怪我人も出ず、現在では平穏な日々を過ごしております。

皆様からの今まで以上の一層のご支援とご声援をいただければ幸いです。ありがとうございました。

